

ぶな

2020年10月号

NO. 499



滋賀県勤労者山岳連盟 **比良雪稜会**

《目 次》

■目 次	1
■巻頭言	2
■例会山行報告	
「ステップアップ比良」 8月22日	3
「音羽山」 9月6日	4
「県連山岳交流会報告」 9月12日	6
■個人山行報告	
「北八ヶ岳」 8月18日	9
「北比良峠道～堂満岳東稜道」 8月25日	10
「奥穂高岳・北穂高岳」 8月28日	11
「立山（浄土山・雄山・奥大日岳）」 9月14日	13
「焼岳」 9月19日	15
「森山岳」 9月21日	16
■例会案内	
「小女郎谷北尾根～蓬萊山」 10月10日	18
「登山祭典 寒風・大谷山」 10月25日	19
「鬼ヶ牙～御所平～白杵（ヶ）岳」 11月1日	20

(表紙写真) 音羽山

《巻頭言》

あれから15年、恐れ多くもド素人の私達が夫婦で百名山を目指そうと思ったのは60才の時でした。宣言したからには先進あるのみ、迷いはありません！

今思えば無謀なことでした。最初の百名山は伊吹山、夜間登山で眠たかった記憶だけが残っています。

それまでに富士山、常念岳、槍ヶ岳、御嶽山、荒島岳、羅臼岳、斜里岳など10座ぐらいは登っていましたがシーズンになれば毎年10～15座の山三昧、今思えば若かった・・・。

北海道の幌尻岳など不安な山は友人夫妻を連れ込んで4人で登頂することが出来ました。その頃の高速道路料金は土曜、日曜、祝日はどこまで行っても千円キャンペーン多いに利用させて貰い、大助かりでした。

ある年など車で現地に行き、蔵王～月山～朝日岳～飯豊山～吾妻山を一週間で登りきり夜に車をとばして帰路につく「体力だけが勝負」と言うこともありました。

南アルプスが最終の山となり、便ヶ島から聖岳～光岳へ。

お陰様でいろんな人を巻き込んで8年間で無事に完登する事が出来ました。

先日、夫婦で西穂高の独標と展望の山「福地山」をゆっくりと登ってきました。

新穂高ロープウェイから見る「真っ青な空と360度北アルプスの大パノラマ」

私が見たかった景色はこれだ!! 久しぶりに感動しました。

ピークを目指すことに一生懸命で本当に山をみていたのかな？

これからの登山は急がずゆっくりと大自然の中に身をおいて山の空気をいっぱい吸っておいしいビールも飲んでそんな山登りが出来るようになったらいいですね

H. M

《山行報告》

ステップアップ比良 リトル比良・鵜川境界尾根～滝山

8月22日(土) 晴

参加者 CL T田、SL M内、K川、K西(以上滋賀山友会) H野、S藤、K藤(記録)(以上比良雪稜会)

- 7:45 JR北小松駅集合。自粛と雨が重なり中止続き、第1回ついに実施。
- 8:05 北小松駅出発。161号線沿いを鵜川方面へ歩く。今日は曇り後雨予報だったのに暑い！
- 9:07 渡渉点着、小休止。鵜川とその支流の間の細い尾根に取り付き、大津市高島市境界尾根に行く。しばらく足元が見えない程のシダの中の急登が続く。
- 9:47 小休止。灌木に囲まれ日陰もあるが、日に照らされることが多く、暑さのため細かく休憩を取り進む。
- 11:27 P542着、小休止。少し手前では琵琶湖を望む。
- 12:10 ついに縦走路に出る。長かった！昼休憩。12:45 出発。
- 13:05 少し登って滝山着。集合写真を撮る。ここからは下り。
- 13:33 655出合。この後道が解り難くなる所、西に少し道を外れるもすぐ修正。
- 14:03 渡渉点着。水を浴びる！
- 15:23 滝山登山口。別荘脇の沢で、またも水浴び。
- 15:47 JR北小松駅解散。お疲れさまでした。他会の方々とご一緒できたのも良かったです、地図を見ながら自分の位置を確認し歩く山行は、楽しかったです。皆さん、ありがとうございました。



シダの中を歩く



滝山にて

《例会山行報告》

音羽山(593m) 破線ルートを歩く

日 時：2020年9月6日(日) 集合：JR山科駅前広場 午前9時20分
参加者：N尾CL、K嶋SL、K原SL(写真) N野SL M原(救急)、H野、K藤、
K林、H浦、N田、I井、S水、N井、Y本修 S藤(記録)
行 程：京阪山科駅 9:20～京阪追分駅 9:40～登山口 10:07～5合目 11:07～八大龍王
11:55～音羽山 12:26(昼食)～13:00 音羽山(東海自然歩道経由) 分岐右折 13:15
～脇道へ入る 13:20 左股右股分岐 13:40～ 東海自然歩道への分岐～登山口 14:30
～逢坂の関 14:35～京阪大谷駅解散 14:50

■本日は、14名という多人数になったので、2班に分かれることとなる。折からの台風10号の影響で、追分駅の地下道を出ると同時に傘をさす始まりであったが、わらびの里の横のちょっと粹な水車の横を過ぎ、登山口に差し掛かる頃には、雨も小雨となり濡れた石や倒木に滑らないように注意して進むことになる。私は音羽山に登るときには、大谷の方から国道1号線の歩道橋を渡り階段を登るルートに行くことが多いので、追分からの本日の変化に富んだルートにわくわくする。

朝の気温は昨日より-2度だったが、登山口から少して急登が始まり、倒木も多い中、誰もみな暑さとの闘いになった。体調のすぐれない人も出たので、休みを多くはさんでもらいながら、2つの班の14名が一人も離れることのないペースで5合目まで引っ張り上げて貰う。が、正直「えーっ、まだ半分!？」とは、CL以外誰もが感じた。(と思う)杉の林立する蒸し暑い中を流れる汗をぬぐいながら、登って登ってやっと八大龍王着、そしてここからシキミ平までは20分程、さらに12分歩いて頂上着。

ほっとしながら、頂上鉄塔の下にある木製ベンチに腰を下ろすと、風がやや強く、汗でぐだぐだな身体には少々寒いような気がしていたら、いい塩梅に陽のひかりも差し始めた。そこで京都市街&琵琶湖の絶景を愛でながらの昼食タイムとなる。するとぴったりのタイミングで雪稜会の大先輩であるY本修さんも合流され、さらにさらに嬉しい時間となる。(いつも写真のお世話をして頂き、本当に有難うございます!)

午後の部は13:00下山スタート。天候が持ちそうなので、CLのみぞ知る破線ルートに挑戦することに。下りの急斜面、4回ほどの渡渉など、気の抜けない場面が連続してあり、本当に登り方ひとつで音羽山の顔が全く変わったものとなりました。例会案内ではレベル 体力 ★★☆☆☆ 技術 ★★☆☆☆～★★★☆☆でしたが、いや、今日は違ったよね、と思ったのは私だけではないと思います。登る時期、天候、体調、

色々ありますが、今回も達成感満載の山行になりました。全員で無事下山できて本当に良かった！CLさん、ご一緒していただいた皆様、本当にお疲れさま。有難うございました。

《一口感想》

■全身 シャワーを浴びたかのような汗をかく。一ヶ月半振りの山(7月19日以来)。危険な暑さのニュース通り、買い物(片道自転車、片道歩く)に行くのがやっと!!皆様の思い遣り、ミンミンゼミとヒグラシの声、ハギとフジバカマ、台風10号?の風に励まされ 登頂出来ました!有難う御座いました m()m

山は良いなあ!!

N田



■音羽山は読図で登っていましたが、とても同じ山とは思えないくらい歩くのが難しかった!雨のあとで滑りやすいのもありましたが・・・さすが、長尾さんのマイナールート(°∇°) 橋を四つん這いで渡る自分が情けない(T_T)難しくて楽しくて、家に帰ったらドット疲れが出ました。次もよろしくお願いします。 H浦

■雨は歩き始めだけ。おかげで破線ルートを順調に歩くことが出来ました。山本さんお久しぶりのご参加有難うございました。 N尾



(音羽山山頂にて)

比良中井新道・ヤケオ山を歩く

日 時：2020年9月12日（日）

参加者：T田CL（山友会）、K西SL（山友会）、S藤（記録：雪稜会）H島（写真：雪稜会）、K藤（雪稜会）、N村（雪稜会）、H野（雪稜会）、I村（雪稜会）、M内（山友会）、K川（山友会）、K原（山友会）、M田（山友会） 計12名

行 程：JR 近江舞子駅 8:00～登山口 8:40～峠 9:10～P 7 6 1 m10:30…11:20 ヤケオ山 11:50（昼食）～P 7 6 1 12:20～5 8 0 m13:50～登山口 13:50～JR 近江舞子駅 14:40・解散

■ 8：00 近江舞子駅集合 自己紹介後、駅から見えるヤケオ山を見上げながらT田CLのルート説明を聞く。駅から出て、集落地を歩き、萩の花に秋を感じながら、湖西道路をくぐり、別荘地の荒れ放題の林道を進んでいく。8：55 林道の奥の登山口着、大きな石が12個ほど並んでいるところ。赤テープあり。山の中の地面はぬかるんでいた。少し行くと堰堤あり。倒木をまたぎ、潜り、枝をよけ、常に足元に注意をはらいながら進んでいく。そんな中であって、T田CLの豊富なギャグで場が和みながら、どんどん登っていく。途中、登山道の脇に長方形に綺麗に切られた岩々が見え隠れする。その中からT田CLに、石切の石を教えてもらう。9：23 峠着、「北小松区有林」の標識有り。ここまでがしんどかった。やれやれと休憩。10：00 休憩 蒸し暑く汗が流れ出る。10：58 580m地点スイッチターン着、薄暗いがひらけた場所で自由に歓談、休憩する。ふいたたび登山道を登りながら、K原氏の熊に遭遇したテント泊のお話を聞くことが出来、大変興味深かった。いやー、凄い経験をされています！10：55 P 7 6 1 着（正確にはP 7 6 1 地点を少しずれているところ）ヒカゲノカズラが群生して地面が緑色に覆われていてキレイ。空には雲があり、陽の光が差しているが暑すぎず、風もあり…ほっとする。展望もあって琵琶湖に浮かぶ竹生島が遥か眼下に見えていた。11：20 展望台着 ここにつながる斜面を上るときに、短いススキが生えているなあと思っていたら、360度パノラマの展望台のあたり一帯は、1mはゆうに超えるススキの原だった。青空も出て、眼下には黄金色に輝く田んぼがひととき美しく、琵琶湖は対岸を雲霧の中に隠してさらに広大に感じられた。パノラマ眺望の感動さめやらぬまま、腕や頬をスス

キで切らないよう、目前ゴールのヤケオ山に向かってストックでかき分けかき分け進んでいると、あれよあれよと言う間に霧が出てきて、空は灰色一色、霧で視界はゼロに。雨粒がぽつときたので皆、足早に進みだす。今思うとこの地点からのヤケオ山山頂までが一番距離が長く感じられた（私だけ？）

11:53 ヤケオ山到着、山頂は、標識を中心に半径5mほどのまるいスペースがあり、そこで集合写真撮影。昼食タイムをとる。「ここは比良縦走の通過点になるところで…」などと話をしていたら、今日初めての登山者、若者数人に遭遇。聞けば、北小松からあがってきて北比良まで行くそうだ。そうこうするうちに雲行きがさらに怪しくなってきた。12:30 下山開始 来た道をいそいで下りていく。13:05 P761 地点、途中体調不良のひとが出たので、休憩を多くとり、ゆっくりペースで下る。結局雨はぽつときたくらいで、雨具を使わずにすんだ。とてもラッキー。14:15 峠空は、雲が切れて明るくなってきた。

14:35 登山口、15:20 近江舞子駅着 解散。 （記録:S藤）

《一口感想》

■思ったより天気が良く、またケガなどなく無事終わることが出来ました。

それでも、ヤッパリ暑かったですね！他の会の方との交流山行は、意味のある事だと思えました。またこれからも宜しく願います。 T田

■今回私にとって2回目のステップアップ比良になります。交流山行ですが私はそのような捉え方でした。ダジャレで始まり皆さんの気持ちを和らげるCLで笑いが絶えないのもいいですね。コースは地図にないルートだけに暑さに加え難コースですが途中に見た琵琶湖の眺めは大パノラマで素晴らしかったです。山友会と比良雪のメンバーだけでしたが他の会の方も参加されたらいいと思います。 F野

■中々他の会の方とご一緒する機会がないので、交流山行、とても有意義な山行になりました。雪稜のみなさん、特に男性の方の健脚に吃驚!!色々なルートから比良を縦横無尽に楽しむT会長山行。マニアックでシブい山行ですが、昔の人の息吹を感じる奥深い山行です。又、みなさんとご一緒したいと思います。ありがとうございました。

K川

■豊田様皆様 大変お世話になりました。比良山系の道をいろいろたどるのは、楽しいです！！来年は、更に他会の方とも一緒できるのを楽しみにしています。 K藤

■知る人ぞ知る道を辿って。静かな比良山を今回も楽しませて頂きました。ステップアップでは他会の方々との交流もあり、これも楽しみの一つです。有意義な一日でした。

K西

■初の交流山行は いろいろ話も出来て楽しいものであった。“中井新道～ヤケオ山”は随分前（後日調べてみると 2006 年 11 月）に「ぶらり比良探訪」シリーズで歩いており、進むにつれルートや風景の記憶が蘇ってきて、特に感慨深い山行となった。皆さんありがとうございました。 N村

■「行ったことないコースで、すすきの藪こぎに苦労しましたが、面白かった。

今回の交流山行は、他の会の人たちと話すことができ、いろんな事を知ることができ有意義であった。今後も参加したい。」 I村



(個人山行報告)

北 八 ヶ 岳

日 時：2020年8月18日～21日 (全日ほぼ晴れ)

参加者：CL H池 SL K林 T中 H浦 (記録)

行 程：18日 山頂駅 12:30～縞枯山荘 12:45～雨池 13:50 周回～山頂駅 15:55

19日 蓼科山登山口 8:20～山頂 11:25～頂上ヒュッテ 12:40～蓼科山荘
13:2～大河原峠 14:45～竜源橋 17:40

20日 山頂 8:10～七ツ池 9:20～北横岳(南峰)9:40～(北峰) 9:50～
亀甲池 11:25～双子池 12:30～天翔寺原 14:15～竜源橋 16:20

21日 山頂 8:10～雨池峠 8:30～縞枯山 8:55～縞枯山展望台 9:25～
茶白山 10:10～茶白山天望台 10:15～山頂駅 12:15

□18日 電車、タクシー、ロープウェイを乗り継いでドーンと 2237m。雨池周回コース 6,5 km、

□19日 蓼科山は本格的な登山。岩ゴロゴロとは書いてあったけれど想像以上！山頂近くは、もっと大きな溶岩の急登。頂上は、溶岩だらけで凄く広く、中ほどには神社が祀ってありました。大パノラマが広がっていましたが山名表示板が無くなっていた為、お二人の山名の談義が長い(>_<)・・・ア一直して欲しかった。

□20日 北横岳は良く整備された道をサラッと歩き、その後はやっぱり岩だらけで大変。

□21日 雷雨の予報あり。さっと茶白山まで。縞枯山展望台に登るのに大爆笑、動画にすれば題名は(ヘッポコ4人組)になるの間違い無し。4日間の中で一番楽しかったかも。ペンションのオーナーさんにはコースを教えてもらい送迎までと親切にしてもらいました。



〈個人山行報告〉

南比良峠道から堂満岳東陵道

日 時：2020年8月25日 晴

参 加：CLH川 SLF野 K原 F島（記録）

コース：百間堤 10:00～深谷小屋（廃屋）～南比良峠 13:30～ノタノホリ分岐
～百間堤 16:30

■大物（だいもつ）の集落からバイパスの下をくぐり抜け、山に向かう林道に入ると左手に巨大な石塁群があります。この石塁は四ツ子川の百間堤（ひゃっけんつつみ）で、四ツ子川の氾濫被害防止のため築かれたものです。堤の上り口に駐車スペースがあり各人の車4台を停める。川沿いに深谷小屋までは渡渉の連続、深谷小屋の裏の急斜面を登って峠道に出る。ルートハンティングが必要であり、ロープも急斜面を連続で30メートルほど張ってある難コースである。南比良峠手前で昼食、南比良峠には13時30分着と手間取りました。南比良峠からは縦走路を堂満岳へ、堂満岳山頂で小休止し、堂満岳東陵道を下る。ノタノホリ手前の分岐を出発点の深谷目指し、途中の小さな堰堤を超え難路を沢沿いに下れば深谷道と出会う。16:30着 お疲れさまでした。



《個人山行報告》

奥穂高岳・北穂高岳

日 時 2020年8月28日～31日

参加者 K嶋 CL、K井 SL、S水、I藤(友人)

工 程 8/28 各自宅 0:30～上高地 5:20-6:05～明神 7:00～徳沢 8:00～横尾 9:00-9:30
～本谷橋 10:50-11:05～S ガレ 12:40～涸沢ヒュッテ 13:45～涸沢テ
ント場(幕営)

8/29 涸沢テント場 5:25～ザイテングラート取付点 6:30～穂高岳山荘
8:05-8:20～奥穂高岳山頂 9:15-9:25～穂高岳山荘 10:05-10:30～涸
沢テント場 13:10(幕営)

8/30 涸沢テント場 5:07～南稜取付 6:40～北穂高岳 8:25～北穂高小 屋
8:30-9:20～南稜取付 11:00～涸沢テント場 12:50(幕営)

8/31 涸沢テント場 5:55～S ガレ 6:25～本谷橋 7:40～横尾 8:38-8:55～徳沢
9:55-10:10～明神 10:55-11:05～上高地 11:50～帰滋 18:00

■初日はあかんだな駐車場に車を停めて、予約していたタクシーで上高地へ。初日は20キロ近いテント泊の荷物を担いで涸沢まで…。横尾までのほぼ平坦な道はコースタイムよりかなり早く歩いていたけど、本谷橋から先はグッとペースが落ちるも何とか涸沢に到着してテントを設営する。その後は涸沢ヒュッテ名物のおでんを食べ、今日の反省会と明日の計画の打合せ会と言う名の飲み会(笑)静岡からの3人組と意気投合して、かなりのアルコール量になったかも…。

■二日目、夜中に雨が降ったものの、朝からは素晴らしいモルゲンロートでの一日が始まった。今日、目指すのは北アルプス最高峰の奥穂高岳！ザイテングラートの急登から穂高岳山荘で一息入れて、ハシゴとクサリの難所を越えザレ場ガレ場を進んで山頂へ…。山頂で写真を撮り、景色を楽しんだ後、登って来た登山道を下りた。途中ジャンダルムも見えて、2年前に歩いたこと思い出した。下山時に事故が多いとの事なので、慎重に慎重に歩いて無事



にテント場へ。勿論、今日も反省会と翌日の打合せは実施した。

■三日目、今日は北穂高岳へ…涸沢小屋の右手から登り始めるも、いきなりガレ場の急斜面や岩場が出てきたり、クサリやボルトがあるものの中々手強いルートで、3時間20分程で山頂に着いたけど、昨日の奥穂高岳より正直きつかった。山頂で写真を撮った後は北穂高岳山荘のテラスで小一時間の大休憩…。雲に隠れてた槍ヶ岳もうっすらと見えて、暫し眺めを楽しんだ後は登って来た道を折り返して下山した。テン場に戻ると雨が降り出したけどすぐに止み、涸沢ヒュッテのテラスで毎度の打合せ(笑)テラスから振り返ると、先ほど下りてきたガレ場の登山道が見えたけど、あんな急なところを良く歩いたなって皆で感心してグラスが進む…。



■最終日、涸沢のテント場から上高地へ下りるだけ…。初日に比べると食材が減った分だけザックの重さは軽いはず…なのに疲れもあるのか出だしは足が重かった。横尾に着く頃には調子も戻り、平坦な道になったのもあり軽快に歩いてお昼前には上高地に着き、タクシーであかんだな駐車場に戻って来た後は平湯温泉で四日間の汗を流し、18時には大津へ無事に帰って来た。
(報告:K嶋)



《個人山行記録》

立山連峰（浄土山・雄山、奥大日岳）

日時：9月14日～17日

参加者：CLH島、SLF野

8月下旬から天候不順でなかなか実行できなかった山行であったが、わずかにいい天気が続く機会に巡り合い数日前に宿に電話したところ宿泊OK。3泊4日で立山連峰山行を実施することに。

■9月14日 移動日

12時に堅田を出発。途中昼食休憩等とりながら立山を目指す。平日のせいか高速道路はすいていて快調。5:30立山ケーブル駅前の千寿荘に到着。

■9月15日 浄土山・雄山登頂

7:40始発のケーブルに並ぶため7:00頃宿を出る。やはり観光地早くも並び初めている。GO TOキャンペーンで大観峰までの割引チケットをGET!

この日は天気も良く、大観峰では鹿島槍ヶ岳、針ノ木、遠くに槍と展望を楽しんだ。10:15室堂出発。途中薬師岳の姿が見え始める。11:00室堂山近くの展望台に到着。残念ながら大きく見えるはずの薬師岳はガスにお隠れ。11:20展望台を後に。12:00浄土山山頂着、ここでは劔がその荒々しい姿を現してきた。

13:15一の越着。少し休み12:22雄山を目指し進む。赤の目印に登り、黄色が下りとコースが分けられていた。コロナで少なかったが普通ならもっと多くの人がいたものと思われる。14:08雄山着。コロナの関係で料金のいる社は無料で頂上まで上がることが出来た。劔、奥大日、大日の大パノラマを堪能した。14:32下山開始。16:00室堂ターミナル着。16:24今日、明日の宿であるみくりが池温泉に到着。（記：F野）

■9月16日 奥大日岳登頂

6:50みくりが池温泉を出発。エンマ台を通りリンドウ池や血ノ池を見ながら雷鳥平キャンプ場を通り浄土沢の橋を渡る。右岸の河原を下流方向に進み右側の小さな尾根に取り付きジグザグに高度を上げる。

8:08室堂乗越着。のびやかな稜線は、展望が開けており立山連峰の眺めもすばら

しい。右方に劔岳左方に弥陀ヶ原と薬師岳を絶え間なく見ながら稜線を進む。劔岳と正対する地点で珈琲タイム。劔岳東面の厳しい岩壁が迫ってくる。2年前の夏に登った早月尾根全景を懐かしく眺めながら贅沢な時を過ごす。

11:00 奥大日岳山頂着、360度の大展望。中大日岳、大日小屋、大日岳へと続く山並みの先には、日本海の大海原が。奥大日岳山頂からは全方位絵画のような風景が堪能できた。山頂から少し引き返し、奥大日岳最高点に向かう。最高点から先は大日谷へ切り落ちた崖の斜面である。危険個所であり当然通行禁止、通過もできない。最高点分岐まで引き返し、往路に戻る。13:20 室堂乗越着 13:40 雷鳥平着 14:20 みくりが池温泉着。

■9月17日 称名滝・悪城の壁

落差日本一の大瀑布は迫力満点で350m 4段に折れながら流れ落ちている。滝見台（標高1080m）から4段の全貌を眺める。

悪城の壁は、溶岩台地が侵食されてできた大きな壁（高さ500m、長さ2km）で実に見ごたえがあった。（記：H島）



（浄土山山頂）

《個人山行報告》

焼 岳

日 時：2020年9月19日(土)

参加者：K嶋 CL、K井 SL、S水、I藤(友人)

工 程：自宅 00:30～中尾高原登山口 6:35～中尾峠 9:35～焼岳北峰 11:05-11:35～焼岳小屋 12:50-13:05～中尾高原登山口 15:45～新穂高温泉入浴後帰滋

■四連休、中々皆の都合がつかず、日帰りで初めての焼岳に登る事に…。

登りだしはガスがかかり、前日からの雨で登山道は濡れていて滑るのを注意しながら高度を上げる。中尾高原登山口からの登山者は少なくて良かったけど、思っていたより急登の連続…(笑)樹林帯を抜け旧中尾峠に着く頃には時々晴れ間も覗き、山頂からの景色に期待が持てそうと話が盛り上がる。この中尾峠でヘルメットを被り岩場を登るが、所々で火山ガスが出ていたり、地熱で足元が暖かったり、手にする岩も暖かったりで、焼岳が活火山であることを改めて感じる事が出来た。焼岳北峰の山頂には4時間半程で着いたが、中の湯や上高地から登って来たのか、沢山の登山者で賑わっていて、我々も食事したり、写真を撮ったりしながら360度の景色を楽しんだ。先日登った穂高連峰は勿論、遠く槍ヶ岳が見えた時は感動ものだった。

下山は焼岳小屋経由で上って来たルートに戻り、15時45分に駐車場に到着。その後は新穂高温泉で入浴後、大津に戻り長一日が無事に終了した。(記録：K嶋)



《個人山行》

森山岳

日時：9月21日（月） 天候 晴

ルート：小女郎谷・薬師ノ滝～小女郎峠～蓬莱山～森山岳～蓬莱山～金毘羅峠～
金毘羅神社

参加者：CLH島、SLF野、F川、K原

いい天気が見込まれ前日に参加者を募り濱島氏の発案で急遽森山岳に行くことが決まった。

8時20分和邇の平和堂に集合し2台の車に分乗し出発。

帰路の金毘羅神社付近に車1台をデポし、小女郎谷の薬師ノ滝近くの脇道に車を停めた。

9:15 10分程歩きほぼ出発地点の薬師の滝についた。小女郎谷を川沿いに何回か渡渉し上がっていった。やはり峠近くに来ると勾配は急になってくる。峠に出そうな感じが何回もして結構きつかった。11:00 小女郎峠に到着。秋の空気で琵琶湖の眺めがすばらしく、記念写真と少しの休憩。

11:35 蓬莱山（1179.3m300名山） テラス付近をはじめ多くの人（主に若い人たちが）山頂で眺めやおしゃべりなど楽しんでいた。ここは通り過ぎ笹の中に薄くある道に入った。ここからはもう我々4人だけでコロナの心配なし。最初は低い笹の中をしばらく下りて行き林の中の道を登り返し進んだ。山頂らしき所に来ると森山岳と記した白の樹脂プレートがあった。

12:15 森山岳（1080）今日の目的地に到着である。山頂付近では見晴らしはなく少し下った武奈ヶ岳、コヤマノ岳が見える所で昼食をとることにした。

12:50 森山岳出発。13:30 蓬莱山着。人の少ないところで小休止。13:50 グレンデ脇より金毘羅道に入るところで、あまり



の眺めに誘われ記念写真を撮る。ここより少し笹道を進み岩がごろごろとある道を下った。峠近くに来るとロープが張った急傾斜の道があり、ロープにすがりながら滑らないように注意して下った。14:20 金毘羅峠着。びわ湖バレー山麓駅に通じる方はがけ崩れで通行止めとなっていた。神社近くのいつも水質調査をする水場で空いたペットボトルにコーヒー用の水を汲んだ。15:10 金毘羅神社着。

デポしてあった車に乗り出発地点の車をとりに行き、ここで解散した。



<例会山行案内>

ちょこっとシリーズ比良山系

小女郎谷北尾根から蓬萊山

春に中止になった例会の再挑戦です。以前下った小女郎谷北尾根を上ります。道はありません。登り始めは急登です。稜線近くに小さなブナ林があります(この辺では珍しいのでは?)。帰りは、最近歩く人の少ない金毘羅道を下ります。

10月10日(土) 8:45 金毘羅道登山口集合

- ・コース：金毘羅道登山口(車デポ)8:45＝小女郎谷登山口9:15～P717～11:15 稜線合流点～12:00 蓬萊山(昼)12:40～14:40 金毘羅道登山口解散(車回収)
- ・レベル：体力 ★★★☆☆ 技術 ★★★☆☆
- ・持ち物：水、昼食、非常食、地図、磁石、雨具、ヘッドライト、マスク、除菌グッズ、スリング、カラビナ、その他日帰り装備
- ・申込み先：K藤
- ・締め切り 10月4日(日)

■新型コロナウイルス感染症予防のため、以下の通りご協力をお願いします。

- *車の乗り合わせは、最低限にして3密を避けて下さい。
- *息苦しい場合はマスク無しで構いませんが、前後の間を充分開けて歩いて下さい。咳やくしゃみは控えめに。
- *休憩中は特に気を付け、離れておしゃべりしましょう。
- *こまめに手指の除菌をしましょう。
- *食べ物の共有は、お控えください。

《例会山行案内》

-2020 登山祭典-

マキノ 寒風・大谷山 813.9m

… 公開(野点)山行としては16年ぶり、黄葉のブナ林と展望の稜線歩き …

日 程：10月25日(日) 雨天中止

コース：近江今津駅=(貸切バス)=マキノ高原駐車場～西山林道分岐～寒風
～大谷山～石庭へ下山～マキノピックランド= (貸切バス)=
近江今津駅(解散) 歩行 約5時間

集 合： JR 近江今津駅 8：10

交 通： 貸切バス

持 物： 弁当・飲物・雨具・ライト等

参加者： 会員・会友・家族 及び 会員の友人・知人 に限定

参加費： 会員・会友・会員家族：2000円

会員の友人・知人： 2500円 (バス代・保険代等)

定 員： 40名 (定員になり次第締め切り)

担当&申込先： N村高

<注意点>

※マスク着用をお願いします。但し、登山中は外してもらってokです。

※野点はいりません。(新型コロナの感染予防のため)

※集合は近江今津駅とします。バスの乗車時間を短くするため。

※一般募集はしません。会員の友人・知人のみお誘いください。

秋のメイン行事です！

会員の方は早めの申込をお願いします。

友人・知人を積極的に誘ってください。

野点はありませんが、賑やかで楽しい山行としましょう！

【例会山行案内】

南鈴鹿/鬼ヶ牙～御所平～白杵（ヶ）岳

鈴鹿山脈の南部にある岩峰の鬼ヶ牙から御所平まで登り白杵岳を周回します。駐車地点すぐに鬼ヶ牙登山口があり谷筋からの急登で鬼ヶ牙へ、そこから長坂の頭を経て鈴鹿主脈縦走路に出るまで急登、岩場・ザレ場のアップダウンが続きますので慎重に。大岩からすぐの小太郎峠から北へ向かい仙ヶ岳などの鈴鹿の展望地である広々とした御所平でお昼の予定。そこから小太郎峠まで戻り舟石を経て白杵岳への分岐までは殆ど快適な下りですが、白杵岳をピストンして分岐まで戻り次の白杵山を過ぎると急下りとなり谷沿いの道になれば間もなく白杵岳登山口です。

(白杵山)

日 時 2020年11月1日(日)

集 合 和邇川河川敷駐車場 AM6時30分(先にJR和邇駅6:25に寄ります)
または〈道の駅あいの土山〉7:50 (トイレ休憩で寄ります)

行 程 駐車地点～登山口～鬼ヶ牙～長坂の頭～小太郎峠～御所平～小太郎峠
8:40 8:45 9:40 10:40 11:40 12:30(昼食) 13:40
～舟石～白杵岳～白杵山～白杵岳登山口～駐車地点
13:50 14:30 15:00 15:45 15:50

レベル 体力★★★★☆☆ 技術★★★★☆☆

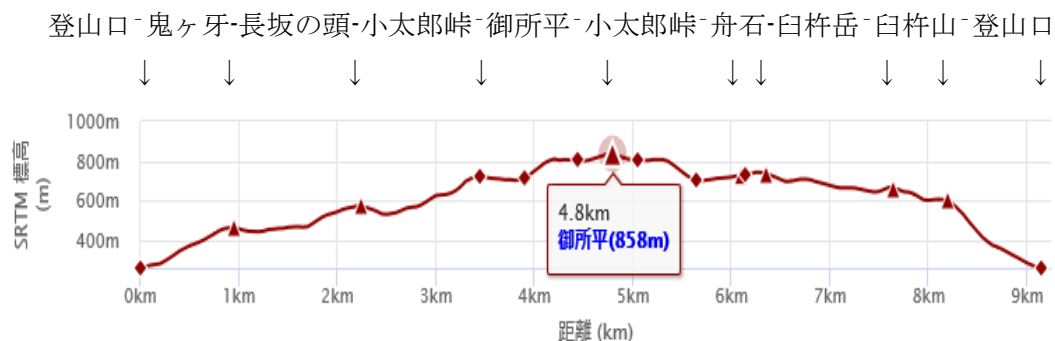
時 間 約 7時間 距離 約 9.5km

担 当 N尾

申し込み パソコン
携帯

締め切り 10月26日(月)

雨天中止 中止の時は前日に連絡します。





滋賀県勤労者山岳連盟

比良雪稜会

滋賀県大津市和邇今宿 712-1 西村方

TEL&FAX 077-594-0454

E-mail kazuyo-buna@river.sannet.ne.jp

HP <https://aquafoal39.sakura.ne.jp/>